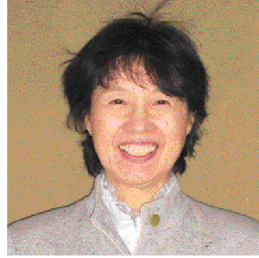


## 一年一端。

千鳥福祉会理事長  
山本昌子



初春の候、皆様には  
ご健勝のこととお喜び申  
上げます。

昨年は関係者の皆さま方には心からのご支  
援を頂き、何とかご利用いただいている皆様と  
笑顔と共に一年を過ごすことができました。

役職員一同、心からお礼を申し上げます。

昨年の震災で日本は「いざ」という体験をし  
ました。その中で「助け合う」という貴重なキー  
ワードが脚光を浴びました。このキーワードで

どんな仕組みが作れるか皆さんと一緒に考え、  
一本一本の策が繋がってかけがえのないセフ  
ティネットになるといい、そのための行動を起こ  
せたらと思います。

何かの偶然でしょうか、昨年度事業を開始し  
た松東地域の24時間サポート事業では、待機  
者職員を置き突然の出来事に対応しています。  
今後も関係機関や地域の民生委員の方々と繋  
がりを一層深め、日常だけではなく次にやって来  
るかもしれない「いざ」という時には、千鳥福祉  
会がお世話になるだけではなく、地域にいらっし  
やる支援が必要な方々の暮らしを守るための役  
割の一端が担えたらなあと感じております。

どうか、今年もよろしくお願ひ致します。

## 平成23年度第2回全体フォーラム



H23年11月25日、仕事が終わって18:30からではありましたが、  
ビスタワークス研究所所長の大原先生をはじめ島根経営品質研究  
会のメンバー等、念願だった外部の方を招いて、自分たちの取り組  
みを発表する機会を設けることができました。事業計画書・事業報  
告書の作成で済んでいたこれまでの事業の推進は、

- ①チェック機能が弱い。
- ②働く者はどこで喜ばいいのか。
- ③社会福祉法人は外部からどんなふうに見えるのか。
- ④自画自賛もそう長くは続かないだろう。

などの想いに加え、ひとり一人の職員の目指そうとしているものがバラバラではいい結果を期待  
できない事は自明の理であり、他の事業の取り組みも知る必要があるという考えから、昨年より全  
体フォーラムと称するコミュニケーションを創めました。

講師の先生の話がもう少し聞きたかったという意見はもとより、事業の全体を知るいい機会に  
なったという意見が多くその点では評価したいと思います。ただ、準備不足から、各事業所の取り  
組みが法人全体としてどう組み立てられるかについてのメッセージが出せなかった点に悔いが残  
りました。お忙しい中、遅くまでお付き合いいただいた外部の皆さま方に心よりお礼を申し上げま  
す。また、職員の皆さま、お疲れ様でした。

謹賀新年

今年もよろしく  
お願い申し上げます。

# 龍



見ること、聞くこと、触れること。



### 3Bリリースステージ in さんいんに参加 3B体操 古藤令子

昨年の10月15日に、(社)日本3B体操協会40周年記念大会を県民会館で開催しました。松江市と近郊の子供から80歳まで、3B体操を愛好する方のステージ発表会でした。千鳥福祉会からは6名の方が松江市手をつなぐ育成会の方と一緒に「ベル」という用具を使ってディズニーの「アンダー・ザ・シー」に合わせて披露しました。今年の春から重ねてきた練習の成果を発揮して、ステージでは生き生きとした演技で大会を盛り上げて頂き、客席からは大きな拍手と「元気をもらった」という感想を頂きました。

千鳥福祉会にボランティアで何うようになって5年あまり、ストレッチのゆったりとした音楽では眠そうになったり、集中力が続かなかったり、毎回試行錯誤の繰り返しでしたが、皆さんの「日常生活に必要な筋力のバランス能力を養うための運動を楽しむながら続けてもらうための体操を提供する」ことを目標に通ってきました。

現在は、センターひまわりで月2回、持田寮で月一回体操をしています。活動を分けたことで、よりきめ細かく一人一人に合わせた体操ができるようになり、皆さんの意欲も向上しているように感じます。毎回発見や喜びがあり、私の活動の中でも大切な場になっています。今後も笑顔で迎えてくださる皆さんと一緒に楽しく体操をさせていただきたいと思います。

# enjoy every day



## フレンド旅行

今回は行きたい場所について利用者自治会でアンケートを取り、行き先が決まりました。そんな事もあってか利用者さん全員参加となり、鳥取花回廊～大山みるくの里～皆生おーゆホテル～境港水木しげるロードの一日コース、蒜山ジョイフルパーク、出雲古代歴史観～フォージェルパークの企画になりました。おーゆランド・ホテルはクリーニングの取引先で従業員の方に暖かく迎えて頂き、皆さんが感動されていたのが印象的でした。水木しげるロードも記念写真を撮ったり、ねずみ男の登場に大騒ぎでした。

利用者さんからは「いろんなところに行けて良かった」「みんなで騒げて良かった」「好きなものがいっぱい食べれた」「来年も企画してほしい」などの声が多く聞かれました。

(フレンド旅行担当/長尾浩二)



仲間と共有することが「楽しい！」



## 今年の旅行は 三班に分かれて〈持田寮〉

### ■1班:一泊旅行～広島、宮島ツアー

前日まで不安はすぐに消え、旅行の楽しさ全開の皆さんに触発されて、広島の風景も夜の御馳走も堪能しました。夜はカラオケを熱唱され、持田寮では見ることが出来ない生き生きとしたものでした。

### ■2班:日帰り旅行～熊野大社、温泉ツアー

熊野大社は何度か行ったコース。熊野大社を参拝、隣の熊野館で昼食、温泉とゆっくりした流れの時間の中で楽しみ、最後はしっかりお土産を買って皆さん満足げに過ごされました。

### ■3班:日帰り旅行～宍道湖遊覧ツアー

宍道湖遊覧白鳥号に乗って、宍道湖の景色を眺めながら弁当を食べる…持田寮では初めての企画。船酔いの心配、遊覧時間が少ないなど、不安だった企画ですがこれも杞憂に終わりました。遊覧を楽しみ、物産館で喫茶・買い物と楽しい時間が過ごせました。

今回、旅行担当をしました。行き先、予算、旅行業者との連絡想像以上の業務に挫けそうになりましたが、写真に写る皆さんの笑顔を見て、この企画は間違っていないと実感できました。また、旅行という非日常での経験は利用者の方々にとって大切なものですし、旅行を通じて見えてくる一面は貴重な一瞬です。もちろん、日常でも笑顔を見せてもらえますし、そのように支援をしなくてはなりません。様々な気づきをもたらした旅行でした。

(持田寮/笠間 大介)

## 球技大会参加



昨年10月1日(土)浜山公園で親善球技大会があり、フライングディスクの試合に出ました。アキュラシー的に入れる競技では9枚入り金メダルをもらいました。遠くへ飛ばす競技でも31m39cm飛ばす事が出来、金メダルでした。とっても楽しく過ごさせてもらいました。今年は米子大会ですが、出場したいです。

(ワークセンターフレンド/足立真一)



クリスマス会は、それぞれの事業所ごとに行う大きな行事になりました。

○就労移行支援事業所「ワークセンターフレンド」では自治会が主体になってボーリングに行った後、歌って踊って食べて…たくさんの笑顔に出会いました。

○通所多機能事業所「L.C.C.ういんぐ」ではご家族と一緒に歌ったり踊ったり食べたり。ご家族から、飛び上がりたいほどうれしいお手紙が届きました。抜粋ですが、

今までクリスマス会という名のついた催しに現在62歳の私が幼稚園児であった6歳の時以来、一度も参加した経験がありませんでしたので…ワクワクした気持ちで舞台方向を見ていました。…やがて「ドナドナ・ドナ」の曲が流れて…けたたましい耕耘機のエンジン音と2名の暗黒の世界からの使徒??が出現。…私は不意を突かれて…また、何と言っても圧巻であったのは「マッチ売りの少女」でしょう。…1本、2本、3本と擦った時のシーンは切なく楽しめました…



## ういんぐ旅行

ういんぐは大所帯のため3班に分けて旅行を楽しみました。

①鳥取県東伯郡の燕趙園(日帰り)②岡山県倉敷の美観地区(日帰り)③京都の天橋立・兵庫の城崎(1泊)という具合にです。

参加された方からは、中国雑技団のショーがおもしろかった、倉敷のアイビススクエアで食べたホテルランチが豪華でおいしかった、城崎マリワールドのイルカのショーがすごいなどの声が上がっていました。利用者、職員共に満足感を多く持って頂けたのは、これまでとは違うことを試してみたからだと感じます。たとえば公用車をやめて観光バスにし、旅行目的地設定の斬新さ(日帰りでも遠方を選択し旅行感アップ)、日帰りでは自己負担金が発生しないコースと発生するコースの選択肢を設けたことです。

決められたプログラムや前例通りの活動というのは「なんとかなる」ものでリスクも少ないと感じます。ただこれから私たちが目指さなければならぬのは、事業の充実や革新といったところにあるのではないかと思います。

試してみることは「なんとかならない」ことも発生するしリスクも多いのですが、利用者満足と職員満足がともに連鎖しつつ高まっていくよう、今後も常に前を見て進んでいきたいと思っています。

(ういんぐ/福庭神介)



「サンタのバイオリン」「職員の出し物」「利用者さんののど自慢大会」「おいしいケーキ」…クリスマス会に感謝とお礼を…

○施設入所支援事業所「持田寮」体育館をアルコール抜きの宴会場にしてご家族と一緒に。

私たちの暮らしには「お囃子」が大切です。毎日の暮らしの中にも「なにがしかのお囃子」があれば、どんなに楽しいことだろうと。福祉の現場には特に大切なことで、利用していただいている方と一緒に作り上げたいと思っています。

# 「今日のごはんは何？」◎

「今日のごはん何?」「今日のご飯はなに?」朝すれちがう時にいつも利用者さんが聞いて来られます。好きな食べ物だとそこでとても笑顔になり、苦手な物だと顔がどんより…利用者さんにとってその日の食事で1日の気分が左右されるんだなと思います。以前、利用者さんと廊下ですれ違う時に「森山さん!!今度〇〇が食べたいです!!」「〇〇は今月出るかね?」と呼び止められ何分も食べたいメニューについてお話をする機会がありました。「今度厨房(日清)さんに頼みますね」と伝え、栄養管理委員会でそのことを報告しました。すると、翌月の献立案に目を通していると、利用者さんが食べたいと言っておられたメニューの全てを取り入れた献立になっていました。早速「来月、希望メニューがでますよ」と伝えると出会う度に何日に出るのかという確認をされ、とても心待ちにしておられます。そんな姿を見ると、利用者さんにとって生活の中でいかに食事が楽しみなものであるのかを強く感じます。特に月に一度の行事食やおかわりのできるカレーの日、希望メニューのある献立の日には前々から壁面や口頭でお知らせをしているのですが「〇日はお楽しみ献立だから頑張ってるよ!!」「お寿司楽しみだなあ♪」「今日はカレーでおかわりの日だよ!!」など話しかけてくださる方が増えました。これからも、食事制限やカロリー制限がある中で少しでも食事をする楽しさや食への興味を持っていただくよう、手探りですが追求していきたいです。

(栄養士/森山久美子)



きれいに  
気持ちがいいネ!

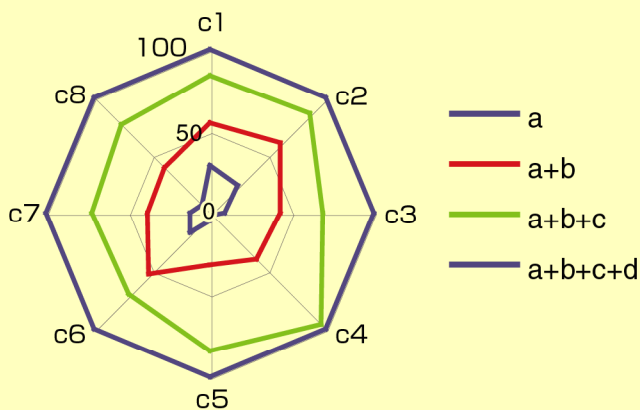


# きれいにしたよ!見て!◎

12月13日はホームの点検日でした。ふだんの掃除でも隅々まで心がけているつもりですが、それでも少しずつ汚れはたまっていくもので、年に2回の点検日には大掃除のつもりで力を入れます。点検を世話人相互で行うことで他のホームのアイデアを共有したり、気が付かなかった部分を見つけてもらったりします。今回は、玄関に季節の花が生けてあったり、女性ホームのトイレにはかわいらしい消臭シールが貼ってあったり、それぞれに工夫を凝らしてありました。我が家でもこれぐらい必死でやれたら、と思いますが……。

一方、利用者さんにとっても緊張する日を迎えます。この日のために居室の押入れやタンスの中など担当の世話人さんに手伝ってもらって一生懸命されました。点検の日、夕方まで待てずに、さっそく「今日の点検、どうだった?」という心配の電話が入ることもあります。利用者さんには結果表にコメントを書いてお部屋に残してあげています。この日が終わり、利用者さんも、世話人も共にホッとしています。また、今年も頑張りましょう! (点検担当/中島信子・三上千砂子)

## ●平成23年 セルフアセスメント結果



- c1 目的の浸透・計画
- c2 社会的責任遂行
- c3 利用者理解と対応
- c4 課題に対するノウハウの蓄積
- c5 職員・組織のコミュニケーション
- c6 利用者の生活向上
- c7 情報への意識革新
- c8 事業の結果

## 平成23年度上半期 苦情受付・解決への取り組み報告

今年度上半期に4件の申し出を受け、謝罪、解決に向けた取り組みや話し合いによりご理解を頂きました。今年度も精一杯支援向上に努めます。お気兼ねなく申し付け下さい。

- ケアセンター大空・外出支援時に使用した小遣いの残金の不足についての連絡不足について(ご家族から)
- L.C.C.ういんぐ・通所利用者の自宅付近での不適切行動について(地域住民、民生委員)・エアコン室外機の騒音について(地域住民)
- 持田寮・利用者の他利用者への他傷行為による受傷について(ご家族の方から)

## パタカラ健康講座開催のお知らせ

- 日時/平成24年2月14日(火)19:00~
  - 場所/センターひまわり
- ※お出かけくださいますようお願い申し上げます。